

平成20年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1 人目	8 番	石 居 尚 郎 (60 分)	1 危機管理体制の強化・充実について (1) 平成20年3月策定の「羽村市地域防災計画」について ①実効性のある計画となるよう、どのような点に配慮して見直しを行ったか ②羽村市内の企業との連携は、どのように進んだか ③外国人に対する対応をどのように検討したか ④実効性のある防災訓練とするための新たな取り組みはあるか ⑤昨年9月の根がらみ前水田周辺の水害に対する対策は講じられたか (2) 幼稚園・保育園・公共施設などの耐震化はどのように進められていくのか (3) 消防庁が運用開始している「消防団協力事業所表示制度」を推進するため、市として要綱等で認定基準等を整備しているか (4) 羽村市が策定しようとしている（仮称）「羽村市生活安全条例」について ①条例の概要と策定期間は ②実効性のあるものとなるよう具体的な推進計画は整えているか (5) 新型インフルエンザなど感染症対策の取り組みについて ①統括者や指揮系統について検討されているか ②発生段階別に、対策のための行動計画策定に着手するのか (6) 危機管理のための情報システム構築を急ぐべきではないか 2 わかりやすい行政の努力を (1) 最近、窓口対応、広報物や市民への通知について、「よくわからない」「わかりにくい」等の問い合わせはあったか (2) 一般的に難解な制度やきまりについて、窓口ではどのようにわかりやすく説明する努力をしているか (3) 市民へ通知・伝達する公用文をより簡単な言葉で表現できないか (4) 新入職員を中心に市役所内に役所言葉の見直しの研究会を設置してはどうか (5) 市民の目線で「わかりやすい言葉を使用する」ということを、習慣化し継続していけるよう、市としてどのような取り組みを考えていくのか 3 「子ども農山漁村交流プロジェクト」について (1) 国は「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進しようとしているが、これに対して市としてどうとらえ、どのように取り組もうとしているのか	6 月 10 日

2 人目

6 番

小 宮 國 暉
(60 分)

1 公共施設の維持管理について

- (1) 公共施設のデータは一元化されているか
(用途種別、規模、築年、竣工図、施工図、
契約書類、増改築、修繕維持記録等)
- (2) スtockマネジメントの業務管理項目を
整理する上で、主なる課題は
- (3) 公共施設（特に集会、学校施設）の耐震化の
状況と今後の計画は

2 障害者福祉事業への支援策について

- (1) 市内の特定非営利活動法人『障害者団体連絡
会 そよかぜ』等が安定的な運営や今後さら
に発展していくために
 - ①市は基本的にどのような考えを持っているか
 - ②市としてどのような支援を行っているか
- (2) 『そよかぜ』の社会福祉法人化や新施設の建
設に向けた進捗状況について
 - ①取り組み内容や進捗状況は現在どのようにな
っているか
 - ②『そよかぜ』が運営する「ひばり園」「あおぞ
ら」や『スマイルの会』が運営する「スマイ
ル工房」は今後どのように変わって行くのか
- (3) 「障害者就労支援センター（仮称）」の開設
に向けた進捗状況について
 - ①現在どの程度準備が進んでいるか
 - ②運営は市が直接行うのか委託するのか。委託
するとすれば事業者は決まったか
- (4) 「障害者就労支援センター（仮称）」の事業
運営の方針について
 - ①運営内容について、市はどのような事業を行
う考えか
 - ②この事業の効果的な運営について、市はどの
ような方策等を考えているか

3 地域力、福祉力向上にむけた取り組みについて

- (1) 町内会と PTA との連携状況は
- (2) 20 年度、地域力の向上を図るためのプロジ
ェクトを立ち上げるとあるが、具体的にはど
のような方策を考えているか
- (3) 現在認知症の方に対する具体的な施策を求
められている。市としては予防に対する取り
組み以外に、実際の認知症で見られる徘徊等
の対策について、地域力を活かしたネットワ
ーク作りが必要と考えるがいかがか

6 月 10 日

3 人目

2 番

大 塚 あかね
(60 分)

1 地上デジタル放送開始に向けての羽村市の取 組みについて

- (1) 市民生活への対応について
 - ①市民に対し、正しい情報をいかに周知してい
くのか
 - ②「悪質商法」への対応について
- ③公共施設のデジタル化計画について
- ④廃棄・リサイクル対策について

6 月 10 日

			(2) ケーブルテレビ事業者との対応について ① ケーブルテレビ契約者数は市内で何世帯あるのか ② ケーブルテレビ事業者との連携をいかにはかるのか (3) 共同受信施設（共聴施設）対策について ① 市内にある都市障害施設、集合・ビル共聴、辺地共聴施設の数把握しているか ② ①の改修・整備計画をいかに進めていくのか ③ 自治体施設を原因として設置された共聴施設対策について (4) 聴覚障がい者対策について ① アイドラゴン利用者に対して周知はなされているか (5) 経済的弱者・高齢者に対する助成について ① 設置費・工事費の助成について検討はなされているのか ② 国や都、NHK への要請を検討しているか 2 児童館の機能充実・拡大を求める (1) 「子育て支援」プログラムの充実について ① こぐまひろば、あそびのポケットの開催回数・時間拡大を検討してはどうか ② 父親の育児参加を図るプログラムについての検討はなされているか ③ 来館者促進を図る意味からも各種「お祝会」を実施してはどうか (2) クラブ活動としての機能をもたせてはどうか ① 伝統文化や生涯学習を狙いとしたプログラムを実施してはどうか ② 地域の人との「世代間交流プログラム」の検討を図ってはどうか ③ 手作り教室の「料理」に食育の考えをとりいれているのか (3) 西児童館は、今後どのような特色をもたせるのか (4) 児童館同士の交流事業を実施してはどうか (5) 児童館のさらなる情報発信を望む ① 各児童館ごとにホームページを充実してはどうか ② メールを活用を検討してはどうか	
4 人目	4 番	橋 本 弘 山 (60 分)	1 羽村駅西口土地区画整理事業について (1) 換地設計案に対しての意見、要望にはどんなものがあつたのか (2) 先行取得した用地で、減歩緩和の面積をまかなうことは出来たのか (3) 減歩緩和を受けない 435 m²以上の平均減歩率は何パーセントになるのか (4) 街区道路や駅前広場並びに都市計画道路の幅員などを見直し、権利者に対して更なる減歩緩和対策を行うべきと考えるが、市の考え	6 月 10 日

5 人目

10 番

瀧 島 愛 夫
(45 分)

- を伺う
- 2 学校給食について**
- (1) 食材料の高騰について、市はどのように把握しているか
- ①19 年度、食材料は予算内で十分に賄えたのか
 - ②20 年度の予算の中で、食品、食材の値上げは何パーセント位と予測しているのか
 - ③従来使用していた安価な冷凍食品を使用しないことによる影響は
 - ④今後、食材料の高騰に対しての施策は
- (2) 地場産物の使用状況について、市はどのように把握しているか
- ①組合における地場産物使用割合は、19 年度は何パーセント位であったのか
 - ②何種類の地元野菜が使用されているのか。また、何人との契約栽培がされ、その単価はどう決められるのか
 - ③今後の地場産物使用割合を高めていくための施策は
- (3) 給食費未納の状況について
- ①4 月から採用した学校給食の申込制度のねらいは何か。また、それについての反響や効果は
 - ②19 年度の給食費の未納率は改善されたのか
- (4) 羽村市立小中学校学校給食検討委員会の進捗状況は
- ①今後の学校給食の方向性は決定されたのか
- 3 小中学校における情報モラル教育について**
- (1) 羽村市の小中学校の生徒の携帯電話の所持率の調査をしたことはあるか。その割合は
- (2) 現在、パソコンを使用する授業は週何時間あるのか。その具体的な授業内容は
- (3) 羽村市の小中学校にも「学校裏サイト」なるものが存在しているのか
- (4) 「ネットいじめ」などの被害の調査をしたことがあるか。その具体的な被害にはどんなものがあつたか。また、その解決策は
- (5) 子どもに対しての情報モラルについての指導、教育は
- (6) 保護者に対しての情報モラルについての取り組みは
- 1 羽村市の教育について**
- (1) 学校給食について
- ①平成 19 年度の未納額と未納世帯数は
 - ②今回の給食申し込み手続で未納が解決できるか。どの様になって来るか。考えは
 - ③平成 20 年度の 4、5 月分の給食費の納入状況は
 - ④平成 19 年度の未納世帯と 20 年度の未納世帯の重複度は
 - ⑤各地で給食費値上げが実施されているが、羽

6 月 10 日

			村市でも近い将来値上げせざるを得ないと思う。未納が解消されなければ、値上げは理解されないと思うが考えは (2) 二学期制について ①完全実施より4年が経過したが、事業の検証はされたか ②実施して、子供達に対して胸をはって誇れる成果は ③実施して、教育現場の負担は増えたか、減ったか	
6 人目	15 番	門 間 淑 子 (50 分)	1 公正・公平・透明な入札・契約事務について (1) 入札・契約に、「ひとり親家庭・しょうがい者」などの積極的雇用をしているかなどの条件を考慮しているか (2) 契約後に、契約先の労働条件はチェックされているか (3) 談合や違法行為に対するペナルティを引き上げる考えはないか (4) 羽村市の平均落札率は 90%以上と高い数値となっているが、妥当性について市長の見解を問う (5) 入札・契約事務は要綱・規則で進められているが、条例化すべきではないか 2 動物公園通り等の車両通行規制と安全対策について (1) 動物公園通りの整備・改修が終了しても、速度・車種の制限の継続を望む声が多数寄せられている。東京都公安委員会に対し、繰り返し継続を要望していくべきではないか (2) 通行制限の変更がある場合は、賛否などについて事前に協議はあるのか。決定の連絡を受けるにとどまるのか (3) 武蔵野小・羽村3中前の道路は、国道16号線への抜け道になり、交通量が激増している。宅地開発が進んでいるが、歩道は3中前で途切れている。この通りの安全対策はどのように考えているか (4) 武蔵野小・羽村3中前の通りをスクールゾーンに指定すべきではないか	6 月 11 日
7 人目	3 番	西 川 美佐保 (60 分)	1 女性の一生をサポートする体制の実現について (1) 各関係部署で作る「少子化対策推進本部」を設置してはどうか (2) 社会全体で子育てを応援する対策について ①「子育て応援宣言企業登録制度」を立ち上げ、子育て支援の取り組みを企業に宣言してもらい登録、公表する仕組みを作り、インターネット等でPRしてはどうか ② 市内の企業、商店を対象に多子の子育て家庭	6 月 11 日

を応援する「子育て応援ショップ」の登録を推進してはどうか

- ③ 市内公共施設はもちろんのこと、市内商店に働きかけ、授乳、ミルク、おむつ替え等の場を提供してもらえる協力店を作ってはどうか。また、①～③までの企業、事業所、店舗に「子育て支援ステッカー」を表示してはどうか

- (3) 出産率が極端に下がる３人目等の子育て支援について

- ①まずは幼稚園、保育園の（同時保育の）３人目の保育料を無償化にしてはどうか

- ②「女性サポート・プラン」（公明党女性委員会がまとめた政策提言）で提案の、就学１年前の年長児の保育料を無償化にしてはどうか

- ③18歳までの子ども３人以上の家庭への市民税や固定資産税等の課税の面で減免制度を導入してはどうか。また、この①～③までの検討をはじめてはどうか

- (4) 市内で結婚式および披露宴を、一般式場より安く挙げられ、少人数から対応できる会場として公共施設（ゆとろぎのレセプションホール等）を提供してはどうか

2 地球温暖化への更なる取り組みについて

- (1) 市民に分かりやすくアピールするため「地球温暖化対策室」を設置し、情報が集まりやすく伝えやすい体制を作ってはどうか

- (2) 本年、洞爺湖サミットが開催される７月７日を、市として毎年「クールアースデー」（地球温暖化防止の日）と宣言し、この日を地球温暖化防止のために、市民の皆で行動する日に定めてはどうか

- (3) 毎年夏から秋にかけて、環境学習の一環として幼稚園、保育園、学校、市役所などの公的な施設、更には市民にも声をかけ、つるのある植物等で「緑のカーテン・コンテスト」を行ってはどうか

- (4) H20年度予算に温暖化対策の省エネ型機器の助成金 400 万円が計上され、新たにガスの給湯器等もこの４月よりその対象に加えられたが、需要の見通しはどうか

- (5) 一般家庭の CO2 削減に効果の高い「エコガラス」や「省エネ電球」の普及をどう図るか

- (6) 市の環境貢献として、今後「グリーン電力証書システム」への参加をしてはどうか

- (7) 洞爺湖サミットでは、食料危機の対策も大きな焦点となっている。食料増産や地産地消の意識を高める観点から、少なくなった「市民農園」を早急に拡大する必要があると考えるが、市として、今後一般農地の所有者を対象に、どう進め、拡大するのか伺う

3 市民の健康支援について

- (1) 検診の更なる受診率向上について

8 人目

16 番

市 川 英 子
(50 分)

- 厚生労働省は 5 年以内のがんの受診率 50% (子宮がん、大腸がん) を目指しているが、特に子宮頸がんの発症年齢が年々低年齢化し、20 代から 30 代の女性の子宮頸がんが急増している。羽村市に於いてがん受診率の更なる向上をどう図るのか、現状と合わせて伺う
- (2) 検診体制の充実について
- ①子宮がん検診は、現在市内 2 カ所の産婦人科で行われているが、いつも混んでいることから市民の利便性を考え、公立福生病院でも乳がん検診と共に、子宮がん検診もできるように働きかけてはどうか伺う
- ②働く女性などが気軽にインターネット等で他機関の「各種健康相談」や「受診できる機関」の情報提供等を検索できるようホームページの案内をしてはどうか
- ③高齢者の難聴が「閉じこもり」や「認知症」のきっかけとなっており、早期発見、早期治療や対応が大切と専門家から伺っているが、市としての対応について伺う
- (3) 認知症サポーターの養成について
- 厚生労働省でキャンペーンを行っている「認知症サポーター100 万人キャラバン」事業に参加し、認知症の人や家族を見守る応援者を育成してはどうか

1 原油・原材料高騰から市内業者の営業を守るため、影響調査と具体的支援の実施を

- (1) 原油の高騰による市内業者への影響調査の実施をすべきと考えるが市の考えは
- (2) 業者から原油高騰で「困っている」等の相談は寄せられていないか。寄せられたとすれば何件で具体的にはどのような相談内容か

2 ISO14001 認証を返上し、羽村市独自の環境マネジメントシステムへ向け新たな転換を

- (1) ISO14001 の取り組みの成果をどのように市はとらえているか伺う
- (2) 羽村市独自の環境マネジメントシステムへと移行すべきと思うが市の考えを伺う
- (3) 今、各自治体でエコバッグの作成が進み羽村の市民も関心が高まっている。産業祭で町内会連合会や消費生活センターが無料のバッグ配布を行った。長蛇の列が出来あつという間に限られた数の配布が終了した。市内の商店もマイバッグ運動に協力している。市でもぜひ作成し全家庭へ無料配布をしたらどうかと思う。市の考えを伺う

3 清流町地域の環境整備について

- (1) 羽村堰下橋の補修工事は平成 21 年度に行う計画である。利用者からは「雨の日は滑る」「歩くと引かかる」等の声が寄せられてお

6 月 11 日

			り、計画を早めるべきと思うが市の考えを伺う (2) 住民の念願であった公共下水道が開始されることになり、住民は「ずいぶん待たされたなあ」との思いでいる。今後個人負担でトイレの工事等行うことになるが、高額負担で悩んでいるとの声がある。市は、「無利子貸し付け額の引き上げ」「補助金の引き上げ」を行い、清流町の市民が安心して工事に着手出来るようすべきと思うが市の考えを伺う (3) 清流町地区を結ぶあきる野市道 548 号線の工事が行われているが完了しないままになっているため市民から「今後はどうなるのか」との声がある。地権者との関係があり進んでいないと理解しているが今後の見通しを伺う	
9 人目	12 番	中 根 康 雄 (60 分)	1 公有地の管理は万全か (1) 公有地（赤道）が民有地として使用されている。またその逆もあるが、実態を把握しているか。占有料徴収はどうなっているか (2) このような土地が存在している原因は何で、今後どう対処するか。またその責任の所在はどうか (3) それらの中で双方に取得時効にかかる恐れのあるものはないか (4) 道路敷内民有地の是正手続きと、現民有地内の旧道敷は廃道として適正価格で払い下げをし、増収を考えるべきではないか 2 西口区画整理のその後を問う (1) 駅前広場工事について ①その後の進捗状況はどうか ②建物解体工事の責任主体は誰で、解体廃材は完全に撤去処分されたか (2) 申し出換地の規定は法のどこにあるか。また飛び換地との違いは何か (3) 再築補償で全て新築できると誤解している人が多い。主な築年数毎にモデルを設定し、何を基準にどの程度出るのか、具体的数値で示して下さい (4) 換地案設計に当って、利用状況・環境等や公平・平等にどう配慮したか (5) 路線価を決める評定算式とそれに用いる係数の理論的根拠は何か (6) この事業案の全てに渡り事実上の決定権者は誰か (7) 事業計画中、時代にそぐわない部分は無いのか。あった場合見直すか	6 月 11 日
10 人目	1 番	鈴 木 拓 也 (60 分)	1 羽村駅西口土地区画整理事業について問う (1) 仮換地案について ①曳き家により移転が可能と見込まれる戸数、	6 月 11 日

再築が必要と見込まれる戸数はそれぞれいく
つか

- ②仮換地先（移転先）に建物が入らないと見込まれる戸数はいくつか。その場合、建て替え・一部改築は全額補償されるのか
- ③再築が必要と見込まれる戸数のうち、②以外のうちわけは
- ④道路幅の縮小を求める意見、移転に際して再築補償を求める意見についてどう対応する予定か

(2) 資金計画について

- ①歳入のうち、平成 24～28 年度の市費のうちわけはどう推計しているか(ex. 一般会計からいくら、市債いくら、基金からいくら、など。それぞれの市費に占める比率も)
 - ②歳出の「建物移転費」を算出する際に、「曳き家工法（一部改造をふくむ）」と「再築工法」はそれぞれ何戸と想定し、それぞれいくらの移転費が必要と想定しているのか
- (3) 先行取得地はすでにどのくらいの面積、金額分を買ったのか。今後、どのくらいの面積、金額分を買う計画か
- (4) 区画整理事業にともなう環境への負荷・ごみの排出について
- ①区画整理事業にともない、CO2 の排出はどの程度なされると見積もっているのか
 - ②市内の公的セクターからの CO2 排出量は、区画整理事業を含めると、平成 16 年度対比で、平成 33 年度までで+（あるいは-）何%になると見込まれるか
 - ③区画整理事業にともない、ごみの排出はどの程度と見積もっているのか。そのうちリサイクルはどの程度できると考えているのか
 - ④水道管や屋根に使われているアスベストなど、有害な廃棄物はどの程度排出されると見積もっているのか

2 小中一貫教育校構想について問う

- (1) 「中間報告」では、(仮称) 羽村学園を平成 22 年 4 月開校すると書かれているが、市は「実施する・しない」も含めて、市民の声を聞いて検討し、判断していく考えか
- (2) 父母・教師への計画の「説明」と「意見を聞く」ことを十分におこなうことが必要と考えるが、どのように、いつおこなう予定か
- (3) 小中一貫校を検討している理由として、不登校を減らすこと、学力を向上させることがその大きな目的だと説明されている。市内の不登校児が多いこと、学習意欲の低下や学力調査での平均回答率の低さの原因は、何であると考えているのか
- (4) 「一貫校開設の意義」に関わって
 - ① 「きめ細かい指導」をおこなうために、30 人学級や人的な拡充などのため、一貫校に予

11 人目

14 番

露 木 諒 一
(60 分)

- 算をつける予定はあるか
- ②「弾力的な教育課程」とはどういう内容を想定しているのか。小学生への教科担任制の導入はどのような方法となるのか。教員免許とのかかわりで問題は生じないか
- ③一貫校だからできる小学1年生から中学3年生までの交流とは、どのような内容を想定しているのか
- ④生活指導上の迅速・的確な対応は、学校が大規模になるほど困難さが増し、十分な教職員の人数が必要になると考える。どのようにおこなう考えか
- (5) (仮称) 羽村学園の開校にともなう学区の段階的変更が示されている。これについて、どのような課題があると考えているか
- (6) 学校選択制は、学校間の競争を生み点数至上主義に走ったり、人気校・不人気校が固定化したり、地域との関係が難しくなったりと、様々な弊害を生むと考える。一貫校開設にともなう学校選択制の導入がなされる計画となっているが、これらの弊害をどうクリアするのか
- (7) (仮称) 羽村学園での経験をふまえて、全市的な展開をおこなうとなっているが、学校同士が離れていることにより様々な無理が生じないか。小・中が隣接している(仮称)羽村学園との条件格差についてどう考えているか
- (8) 三鷹市での小中一貫校実施の検証によれば、教員の仕事量が大きく増えており、教員の増員が必要であるとされている。一貫校における教員の多忙化について、どのような認識をもっているか。また、どのような対策を講じようと考えているか

1 安心できる地域医療体制について

- (1) 公立福生病院の第1期オープンの体制について
- ①公立福生病院の内科常勤医の医師の確保状況について羽村市長として「危機感」を持っているか
- ②福生病院の現状と新病棟開設後の診療科目数と病床数について
- ③医師の確保状況は。特に内科、小児科や産婦人科について
- ④福生病院の構成市負担金について
- ⑤福生病院の改革プランについて
- (2) 夜間救急医療センターについて
- ①夜間救急医療センターを福生病院に設置することについて

2 精神障害者対策について

- (1) 地域生活支援センター「ハッピーウイング」の羽村市・福生市・その他の利用状況について

6 月 11 日

12 人目	7 番	て (2) 精神障害者共同作業所「スマイル工房」について ①登録人数と活動状況について ②「スマイル工房」の建物の老朽化について ③家族会が運営する「スマイル工房」と NPO 法人「そよ風」との統合化について (3) 「グループホーム」などの居住支援について 3 学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて (1) 学校のアレルギー疾患の有病率の実態について (2) 喘息は、かつての呼吸困難発作をおさめる「我慢の治療」から「発作を起こさない治療」へと大きく変わっている。適切な対応について (3) アトピー性皮膚炎の治療は、皮膚を清潔に保つスキンケアが大事である。保健室の温水シャワー設置について (4) アナフィラキシー症状に備え、治療薬として「アドレナリン自己注射」(製品名「エピペン」)が承認されている。エピペンの使用について (5) 病気を正しく理解するために「健康教育」を行うことについて	て (2) 精神障害者共同作業所「スマイル工房」について ①登録人数と活動状況について ②「スマイル工房」の建物の老朽化について ③家族会が運営する「スマイル工房」と NPO 法人「そよ風」との統合化について (3) 「グループホーム」などの居住支援について 3 学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて (1) 学校のアレルギー疾患の有病率の実態について (2) 喘息は、かつての呼吸困難発作をおさめる「我慢の治療」から「発作を起こさない治療」へと大きく変わっている。適切な対応について (3) アトピー性皮膚炎の治療は、皮膚を清潔に保つスキンケアが大事である。保健室の温水シャワー設置について (4) アナフィラキシー症状に備え、治療薬として「アドレナリン自己注射」(製品名「エピペン」)が承認されている。エピペンの使用について (5) 病気を正しく理解するために「健康教育」を行うことについて	6 月 12 日
12 人目	7 番	馳 平 耕 三 (60 分)	1 市民生活安全パトロールを見直すべき時ではないか (1) 市民生活安全パトロールに登録されている人数は、どう推移してきたか (2) 市民生活安全パトロール実施日数は、小作駅・羽村駅でどう推移してきたか (3) 昨年、パトロールが実施できなかったのは、天候不順・参加者が 0 人の場合・参加者が 1 人による場合、それぞれ、小作駅・羽村駅で何回か (4) 登録されている人の中で昨年 1 度も参加していない人、3 回以内の参加者はそれぞれ何人か (5) パトロール参加者の会議は、1 度あったがその後開催されたか。また、その会議の際、参加者から出された意見を、どう反映させたか (6) パトロールの実施方法を見直すべき時期にあると思うが市の考えは。また、具体的にどう見直す考えか、また、見直す場合には、参加者からの意見を聞くべきだと考えるがいかがか (7) パトロールの成果は何か。また、それを市民はどう評価していると市は考えているか 2 羽村市の教育施策はどう変わるのか (1) 新しい学習指導要領により、市の教育施策はどう変わるか。また、いつ発表されるか (2) 少人数学級制度、コミュニティスクール化、	6 月 12 日

13 人目	5 番	山 崎 陽 一 (60 分)	学校選択制度、バウチャー制度などが小中一貫教育と比較して、実現が難しいその理由はそれぞれどこにあるか (3) 小中一貫教育の検討の中で、2 学期制や学力対策の検証も行うべきだと考えるがいかがか (4) 小中一貫教育の検討委員の中に、より広い分野の皆様が必要と考えるがいかがか (5) 小学校・中学校の教師間の連携をどう進めていく予定か (6) 教育格差対策として、東京都の各自治体では、生活保護世帯へ通塾費用の補助がはじまっているが羽村市教育委員会はどう考えているか。また、教育格差への具体策を考えているか (7) スクールソーシャルワーカー事業の導入の考えはないか 3 高齢者・障害を持つ皆様への相談体制のさらなる充実を (1) 後期高齢者医療制度の説明会の参加人数は。また、出前講座は行われたか (2) 後期高齢者医療制度導入後の相談件数と、おもな相談内容は (3) 後期高齢者医療制度導入により、負担が増えた人と減った人の割合は (4) 65 歳から 74 歳までの一定の障害を持つ人の後期高齢者医療制度への加入者は何人でどのくらいの割合か。加入者は、1 人平均どれくらいの負担が増えたか (5) 地域包括支援センターの 1 ヶ月あたりの相談件数は。また、相談件数は増えているか (6) 「福祉相談窓口」を設置し、ワンストップ化を目指す考えはないか (7) 第三者機関による福祉サービスの評価や「福祉オンブズマン」を導入する考えはないか 1 羽村駅西口区画整理事業の白紙撤回を求める (1) 西口区画整理計画の問題点を聞く ①駅前 3.7ha の整備計画が 16.7ha に広げられ、次に 42.3ha まで拡大した必然性を問う。広げられた地域住民への説明はいつどのようにしたか ②知らぬ間に計画されたため、負担を強いられる住民は 12 年にわたって反対運動を続け、白紙撤回、現状を活かしたまちづくりを求めている。市長は一切無視しているが、長期総合計画が目指す「市民と行政が協働したまちづくり」に反していないか ③本事業の市費 244 億円が債務負担行為として加わり、実質債務残高比率は都内 26 市中ワースト 2。全市民一人当たり 42.4 万円の負担である、と平成 19 年 6 月と 9 月の議会で市長は答えている。平成 24 年から 30 年までは毎年	6 月 12 日
-------	-----	-------------------	--	----------

14 人目	18 番	中 原 雅 之 (60 分)	25 億円以上が支出されるが、この間の一般財源からの繰入はいくらか ④今年度 4.5 億円の区画整理市費が、4 年後からは 25 億円以上と年間の教育費、衛生費、総務費などを超す額になる。全体額が変わらない中で、他の市民サービスへの影響を出さずに済むか ⑤高度経済成長期は終り、開発から環境保護、生活者重視政策に国の方針も転換した。時代に逆行する事業は、立ち止まり見直す時期ではないか (2) 生活環境を無視した換地設計（案）への怒りは大きい。撤回すべきと考え、以下質問する ①意見書、意向等確認調書の集計数について。位置・形状、面積、減歩率、清算金、日照、その他などに分け主要内容と仕分け数は ②意見書、確認書の取り扱い方、仮換地（案）への意見の反映方法とその検証方法は。また、区画整理専門員の仕事は何か ③事業計画変更の公告・縦覧、及び次回換地設計（案）供覧はいつと考えているか。意見書などの提出者への個別の回答方法、出さなかった権利者の意思確認方法、及び換地設計（案）受け取り拒否者への今後の対応は ④区画整理審議会で、換地設計（案）配布前に供覧方法を審議会に諮るという約束を市が無視した結果、井戸や墓地など埋蔵物の位置が示されず、これでは判断出来ないと地権者が怒っている。計画すべてがこうして強引に進められ、今の強い反対を引き起こしている。換地設計（案）は撤回すべきだ。市長の考えを問う ⑤供覧で全体の意見書を募る前に駅前 1 棟だけを仮換地指定処分をした。特別に扱ったことは不公平あり、意見書無視ではないか ⑥駅前 1 棟の除却にあたって区画整理法第 77 条の条件をみたして進めたか (3) 土地評価基準の不公平さについて問う ①土地評価基準の接近係数に便益施設である「小学校」を採用せず「嫌悪施設」としている。西口地区は住宅地であり、駅までの距離だけで利便性を判断出来ない。権利者間の公平性を保つためには学校などを入れるのが一般的だ。接近係数に羽村駅だけでなく東小学校を加えたときの評価指数はどのように変わるか試算してみたか 1 後期高齢者医療制度について (1) 後期高齢者医療制度についての市長の見解はどうか (2) 資格証明書が発行されると、必要な医療が受けられなくなる可能性がある。市の見解と対	6 月 12 日
-------	------	-------------------	--	----------

応はどうか。また、羽村市国保事業での資格証明書の発行状況はどうか

- (3) 羽村市国保から後期高齢者医療に移行することによる高齢者やその家族の保険料の負担はどうか
- (4) 本制度についての市の説明会や出前講座の開催状況、市の窓口への相談件数は。また、それらで市民から出された、相談、苦情、要望など主な内容はどうか
- (5) 高齢者の負担軽減のため、市の独自施策をすべきと思うがどうか（例：後期高齢者入院時負担軽減事業―千代田区、高齢者入院見舞金支給―東大和市）

2 緑地の積極的保全を

- (1) 生産緑地地区指定状況の推移とこれまで解除された面積、市で買い取った面積と価格は
- (2) 市で買い取らなかった主な理由は
- (3) 市で買い取らなかった土地のその後の利用状況はどうなっているか
- (4) 市としてもっと積極的に買い取りをすべきであると思うがどうか